



# 須留が峰

令和5年度  
No.8

HPアドレス <http://yabuboard.ed.jp/yabu-jhs/>



令和5年6月30日発行



## 学 習 評 価 について



今週26日(月)～28日(水)の3日間、期末考査を実施しました。特に、1年生にとっては初めての定期考査でしたが、手応えはいかがだったでしょうか。

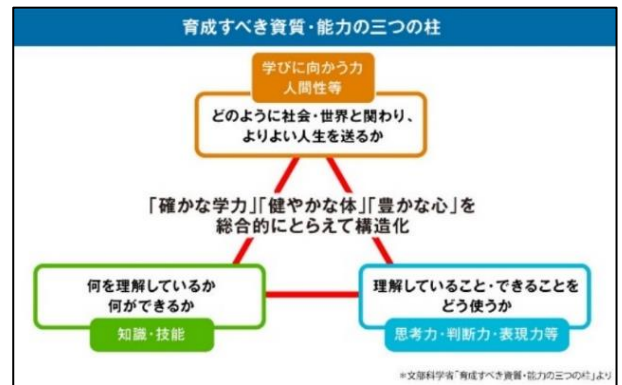
さて、中学校では、令和3年度の新学習指導要領の全面実施から本年度で3年目を迎えます。全面実施の初年度であった一昨年度はもとより、昨年度も学習評価について、この学校だよりで一定の説明をさせていただいたところですが、今年度も引き続きポイントのみ再掲いたします。

### ポイント① 学習指導要領の改訂

現行の学習指導要領では、「何のために学ぶのか」という学習の意義を大切に、「何ができるようになるのか」を視点に、「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視しています。

### ポイント② 3つの資質・能力

そのため、子供たちに育成したい資質・能力について、①知識・技能、②思考力、判断力、表現力等、③学びに向かう力、人間性等という「三つの柱」で示しています。



### ポイント③ 3つの観点別評価

この「三つの柱」に合わせて、各教科（「特別の教科 道徳」を除く）の学習評価の観点についても、

①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度という3つの観点に整理されています。本校においても、各教科の学習評価について、この3観点で評価し、それらの評価を総括して5段階で評定します。

| 教科 | 観点別評価      |   | 評定 |
|----|------------|---|----|
| 国語 | 知識・技能      | A | 5  |
|    | 思考・判断・表現   | A |    |
|    | 主体的に取り組む態度 | A |    |

\* 観点別の評価は、A, B, C で評価します。

\* 各教科の評定は、5段階で評定します。

### ポイント④ 本校の取組

生徒たちが、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の3つの力をバランス良く身につけていくためにも、授業の工夫・改善はもちろんのこと、家庭学習の取組の工夫も必要です。

そこで授業においては、生徒一人一人がこれまで学び、身につけてきた「知識・技能」をフル活用して「思考・判断・表現」できるように「書くこと」を重視し、そのためのノート指導に力を入れています。

また家庭学習については、生徒の「主体的に学習に取り組む態度」の育成にもつながるように、

**進め！ 養父中ブランディング計画**

その意義や学習の仕方について生徒とともに考えながら、例えば「けてぶれ」の手法を参考にするなど、各教科で宿題(課題)の内容を吟味し、量についても調整しながら取組を進めています。

## <Q & A>

**Q 1** 「けてぶれ学習法」とは、どのような学習の仕方ですか。

**A 1** 目標に向けて学習計画を立て(計画)、自身の実力を測り(テスト)、実力を上げるためにはどうすればよいかを考え(分析)、学習を積み重ねる(練習)というサイクルを自分自身で循環させていく学習法のことです。自己学習力を高める手法のひとつとして注目されています。



**Q 2** 3観点の評価は、それぞれどのような評価ですか。

**A 2** 3観点それぞれについて、主に次のようなことを評価します。

(1) 知識・技能

知識や技能の習得状況に加え、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に学習内容を理解したり、技能を習得したりしているかについても評価します

<評価方法の例>

ペーパーテスト、文章による説明、観察・実験、式やグラフでの表現 等

(2) 思考・判断・表現

習得している知識・技能を活用して、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているかについて評価します。

<評価方法の例>

ペーパーテスト、論述やレポートの作成、発表、グループや学級での話し合い、作品の制作や表現等の活動 等

(3) 主体的に学習に取り組む態度

知識・技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自分の学習の状況を把握し、学習の取り組み方や進め方について試行錯誤するなど、自ら調整をしながら学ぼうとしているかどうか、意志的な側面を評価します。

<評価方法の例>

ノートやレポート等における記述、授業中の発言内容、教師による行動観察、生徒による自己評価や相互評価 等

**Q 3** 今後、さらにどのような力が求められるととらえていますか。

**A 3** 本校生徒の課題を踏まえて言えば、今後は、①**基礎学力**はもとより、②**論理的に話す力**や③**論理的に書く力**を身につけさせたいと考えています。授業改善や定期テスト等の問題作成の工夫に努めているのもそのためです。

来る7月3日(月)に実施する3年生とその保護者の皆様を対象とした「**高校説明会**」での**豊岡高校や八鹿高校による普通科新学科に関する説明**も興味深いところです。また12月には、高校の進路指導の先生をお迎えして、2年生を対象に、近年の大学入試制度等の状況について説明いただきます。**今から高校卒業までに大切にしていきたい学習経験等についての講義**を受ける予定にしています。